

# 親子聖書日課

NO.1755 2022.5/15-21 名前

[日]私達は救われてからも、罪に陥りやすいのです。そこで「信心のために自分を鍛える」ことです。体のために毎日トレーニングが必要なように、信心のために毎日御言葉に聴き従うことです。自分に甘えていては、信仰の成長はありません。

[月]教会は気の合う人だけで楽しむ所ではありません。困っている人の世話をすることが求められています。高齢者や障がい者をサポートしましょう。すると安心して教会へ行けます。世話をするためには、いつも相手に関心を払うことです。

[火]「お金さえあれば、幸せになれるのに」と思うことはないですか。その金銭欲が誘惑の虜になり、信仰から離れる原因になります。その結果、神の祝福に与ることができず、「様々なひどい苦しみ」に遭います。あってあるもので足りています。

[水]信仰生活は決して安易な生活ではありません。この世は神に敵する力の支配下にあり、絶えず信仰者に襲いかかってきます。信仰に不戦勝はありません。「信仰の戦いを立派に戦い抜く」ためには、主を信じ、御言葉に聴従することです。

[木]神は私達に、三つの霊を与えて下さいました。一つ目は、神のために力強い働きができる力を。二つ目は、人を愛することのできる愛を。三つ目は、自制できる思慮分別を。こんな大きな霊が与えられたので、何も恐れることはありません。

[金]福音のために働く人には、労苦がつきものです。サタンは主の御業を妨げようと、攻撃してきます。そこで「主イエスの立派な兵士」になることです。自分の知識や経験に頼らないで、上官である主の命令に「お言葉ですから」と言って従いましょう。

[土]どんな世界でも熟練した人は、見事に人の心を捉えます。「真理の言葉を正しく伝える」ためには、伝道の熟練工になることです。それには、失敗や繰り返しを恐れずに、主を語ることです。福音のために「恥じるところのない働き手」になりましょう。



	聖書	問題	答え
日	I テモテ 4:1-16	信心のために自分をどうすべきですか。	
月	5:1-16	教会は身寄りのないやもめをどうすることができますか。	
火	5:17-6:10	食べ物と着る物があれば、私たちはどうすべきですか。	
水	6:11-21	信仰の戦いを立派に戦い抜き、何を手に入れるべきですか。	
木	II テモテ 1:1-18	神は、臆病の霊ではなく、何と何と何の霊を私たちに下さったのですか。	
金	2:1-13	キリスト・イエスの何として、共に苦しみを忍ぶべきですか。	
土	2:14-26	真理の言葉を正しく伝える者となるように、どうすべきですか。	
		感想と祈りの課題	